

平成 26 年 3 月期 決算について

1. 業績概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、大胆な金融政策による円安・株高の進行や、機動的な財政政策による公共工事の増加などにより、企業収益が改善し、景気は緩やかな回復を続けてきました。

建設業界におきましては、公共投資が底堅く推移し、また、消費税率引き上げ前の住宅投資の増加に加えて、企業収益が改善するなかで民間設備投資が持ち直してきました。

このような状況のもとで、当社グループは、太陽光発電設備工事の需要に応えるための営業体制の強化やリニューアル工事などの提案営業を強化するなど、積極的な営業活動を展開してまいりました。また、工事採算性の向上に向けた原価低減の一層の徹底などにより利益の確保にも取り組んでまいりました。

この結果、売上高につきましては、太陽光発電設備工事が増加したことなどにより前連結会計年度を上回ることとなりました。

営業利益につきましては、売上高が増加したことに加えて、原価低減の効果などにより前連結会計年度を大幅に上回ることとなりました。

経常利益及び当期純利益につきましては、営業利益が増加したことに加えて、保有債券の早期償還に伴う償還益を営業外収益として計上したことなどにより前連結会計年度を大幅に上回ることとなりました。

当期の業績は、次のとおりであります。

連結経営成績

(単位：百万円…未満切捨)

区 分	25 年 3 月 期	26 年 3 月 期	増減額	増減率
売 上 高	118,038	136,396	18,357	15.6%
営 業 利 益	3,243	7,275	4,032	124.3%
経 常 利 益	5,946	17,905	11,959	201.1%
当 期 純 利 益	1,665	13,524	11,858	712.0%

個別経営成績

(単位：百万円…未満切捨)

区 分	25 年 3 月 期	26 年 3 月 期	増減額	増減率
売 上 高	108,279	124,618	16,338	15.1%
営 業 利 益	3,114	6,448	3,334	107.0%
経 常 利 益	6,596	17,099	10,503	159.2%
当 期 純 利 益	2,457	13,202	10,744	437.2%

2. 事業の状況（個別）

個別の部門別、得意先別の売上高は下表のとおりです。

（1）部門別 売上高

（単位：百万円…未満切捨）

区 分	25年3月期		26年3月期		増 減	
		構成比 (%)		構成比 (%)		増減率 (%)
屋内電気工事	54,010	49.9	67,399	54.1	13,389	24.8
空調・管工事	17,644	16.3	18,969	15.2	1,325	7.5
情報通信工事	7,209	6.7	6,577	5.3	△632	△8.8
配電線工事	26,213	24.2	28,094	22.5	1,880	7.2
発送変電工事	3,201	2.9	3,576	2.9	375	11.7
合 計	108,279	100.0	124,618	100.0	16,338	15.1

（2）得意先別 売上高

（単位：百万円…未満切捨）

区 分	25年3月期		26年3月期		増 減	
		構成比 (%)		構成比 (%)		増減率 (%)
中国電力(株)	32,096	29.6	34,482	27.7	2,386	7.4
一般得意先	76,183	70.4	90,135	72.3	13,952	18.3
合 計	108,279	100.0	124,618	100.0	16,338	15.1

3. 次期の業績予想

今後の経済見通しにつきましては、消費税率引き上げの影響を受けつつも、政府による各種経済対策の効果から公共投資が高水準で推移することに加えて、企業収益が改善傾向を続けるなかで民間設備投資も増加することなどを背景に、国内景気は緩やかな回復を続けていくことが期待されます。

このような状況のもとで、引き続き太陽光発電設備工事の需要に応えるための営業体制の強化やリニューアル工事などの提案営業に力点を置くなど、潜在する顧客を開拓する積極的な営業活動を全社一丸となって推進する所存であります。

また、工事採算性の向上に向けた原価低減の更なる徹底及び業務の効率化などによる間接費の低減を推進することにより、利益の確保に取り組む所存であります。

次期の業績につきましては、次のとおり見込んでおります。

（1）連結業績予想

（単位：百万円…未満切捨）

区 分	26年3月期実績	27年3月期予想	増減率
売 上 高	136,396	136,000	△0.3%
営 業 利 益	7,275	6,000	△17.5%
経 常 利 益	17,905	8,400	△53.1%
当 期 純 利 益	13,524	5,100	△62.3%

（2）個別業績予想

（単位：百万円…未満切捨）

区 分	26年3月期実績	27年3月期予想	増減率
売 上 高	124,618	124,000	△0.5%
営 業 利 益	6,448	5,500	△14.7%
経 常 利 益	17,099	7,900	△53.8%
当 期 純 利 益	13,202	4,800	△63.6%

4. 配当金

当社の利益配分につきましては、安定した収益が得られる経営基盤を確立するため、業績の状況、企業体質の強化、今後の事業展開への備えなどを総合的に勘案しつつ、株主の皆様への利益還元に努めることを基本としております。

配当金につきましては、当期（平成26年3月期）より業績に連動した配当を行うことに変更しております。

具体的には、保有債券の償還益及び評価損などを損益計算から除外して計算した当社の修正当期純利益の30%を目処に、配当を行う所存であります。

ただし、これにより算出した1株当たりの年間配当金の額が20円を下回るときは、20円の配当とさせていただきます。

また、お支払いは、従来どおり中間配当、期末配当の年2回とし、中間配当につきましては10円とさせていただきます、業績に連動した年間配当から中間配当を差し引いたものを期末配当とさせていただきます。

この結果、当期の期末配当金は、1株当たり20円を予定しておりますので、当期の配当金は、中間配当金と合わせて1株当たり30円となります。

なお、次期の配当金につきましては、業績予想の額を基に配当方針に従いまして中間配当金を1株当たり10円、期末配当金を1株当たり15円とし、年間の配当金は1株当たり25円を予定しております。

	1株当たり配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
26年3月期予定	(※) 10円00銭	20円00銭	30円00銭
27年3月期予想	10円00銭	15円00銭	25円00銭

(※) 26年3月期の中間配当金については、平成25年12月5日に実施しております。

以 上